

きょういく・さど



令和7年8月25日
佐渡市教育委員会
学校教育課

令和7年度 全国学力・学習状況調査の佐渡市結果概要

4月に行われた全国学力・学習状況調査の佐渡市の結果概要をお知らせします。本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に行っております。各学校においても、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善を図る資料として有効にご活用ください。
本調査結果を分析し、成果と課題をもとに、学年や担当教科に関係なく教職員全員で授業改善に一層取り組むようお願いいたします。

令和7年度 全国学力調査 各教科の平均正答率(%) ※中学校理科はIRTスコア

	教科	佐渡市	全国比※	新潟県	全国
小学校	国語	64	-2.8	66	66.8
	算数	55	-3.0	56	58.0
	理科	55	-2.1	55	57.1
中学校	国語	55	+0.7	54	54.3
	数学	39	-9.3	46	48.3
	理科	481	-22	498	503

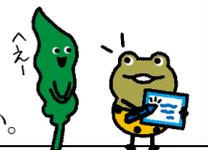
※CBT：令和7年度、中学校理科は文部科学省 CBT システム（MEXCBT）によるオンライン方式で実施している。生徒は自身の端末を使って解答。（CBT：Computer Based Testing）

※IRT：生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、学力スコアを推定する統計理論。（IRT：Item Response Theory 項目反応理論）

※文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県・市の平均正答率は小数点以下を四捨五入した数値が示されているため、平均正答率の全国比はあくまでも参考値として扱う。

1 学力調査結果から見る佐渡市の実態

小学校	<ul style="list-style-type: none"> 国語、算数、理科すべての教科の正答率が全国平均よりやや低い。これまで全国平均を上回っていた国語も、今年度全国平均を下回った。前年度までと比較すると、下降傾向にある。 国語の知識・技能は全国平均より0.9ポイント高いが、「読むこと」領域は3.3ポイント低い。 算数、理科ともに記述式の問題の正答率が全国平均を約5ポイント下回った。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 国語の平均正答率は全国平均よりも若干高くなり、前年度と比較すると改善傾向が見られる。 国語の記述式の問題は、全国平均を下回った。 数学は領域別・観点別・問題形式別の全てにおいて、全国平均を大きく下回った。 理科は学力上位層の割合が全国平均と比べて若干低く、学力下位層が全国と比べて高い。



2 児童生徒質問（児童生徒一人一人が回答）から見る佐渡市の実態

小	○「国語の勉強は得意である」と回答する児童生徒の割合は、全国平均より高い。（小：+8.0、中：+7.1）
中	○「国語の勉強は好きだ」と回答する児童生徒の割合は、全国平均より高い。（小：+6.5、中：+7.6）
共通	○「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と肯定的に回答する児童生徒の割合が全国平均と比べて高い（小：+2.5、中：+2.7）。

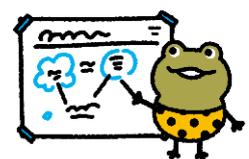
	<p>▲「将来の夢や目標をもっている」と肯定的に回答する児童生徒の割合が全国平均よりも低い（小：-3.2、中：-3.4）。</p> <p>▲PC・タブレット端末などの ICT 機器の使用頻度が全国平均と比べて低い（ほぼ毎日使用する割合が全国平均より低い）。</p>
<p>小学校</p>	<p>○「自分には、よいところがある」と肯定的に回答する児童が全国平均より 4.0 ポイント高い。</p> <p>○「国語の授業の内容がよく分かる」と肯定的に回答する児童が全国平均より 4.8 ポイント高い。</p> <p>○「算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている」と肯定的に回答する児童が全国平均より 6.4 ポイント高い。</p> <p>○「理科の勉強は得意」と肯定的に回答する児童が全国平均より 7.2 ポイント高い。</p> <p>○「理科の授業の内容がよく分かる」と肯定的に回答する児童が全国平均より 5.8 ポイント高い。</p> <p>▲5年生までの学習の中でPC・タブレットなどの ICT 機器の活用に関する質問項目すべてにおいて、肯定的に回答する児童の割合が全国平均より低い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。（-4.0） ・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。（-8.6） ・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。（-4.3） <p>▲「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と肯定的に回答する児童の割合が全国平均より 4.5 ポイント低い。</p>
<p>中学校</p>	<p>○「いじめはどんな理由があってもいけない」と肯定的に回答する生徒の割合が全国平均よりも 2.6 ポイント高い。</p> <p>○「地域や社会をよくしたい」と肯定的に回答する生徒の割合が全国平均より 4.3 ポイント高い。</p> <p>○「自分の考えを発表する機会で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と肯定的に回答する生徒の割合が全国平均よりも 5.3 ポイント高い。</p> <p>○「総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と肯定的に回答する生徒の割合が 5.1 ポイント高い。</p> <p>★「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていない」と回答する生徒の割合は、全国平均と比べ非常に高い（小：+25.8、中：+32.5）。</p> <p>▲「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する生徒の割合は全国平均より 2.5 ポイント低い。</p> <p>▲「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答する生徒の割合が全国平均よりも 6.0 ポイント低い。</p> <p>▲中学校では、家庭学習時間が全国平均よりも少ない傾向にある。平日についても土日についても同様である。ただし、土日に「全くしない」割合は全国平均よりも少ない。</p>

※詳細は別紙「児童生徒質問結果まとめ」をお読みください。

3 今後の対策

上述の実態から、日々の授業改善への取組、児童生徒の自己肯定感を高めることや家庭学習の習慣化など、市教委・学校・家庭が連携して取り組んでいく必要があります。佐渡市教育委員会として、以下の点を柱として、学力向上の取組を進めていきます。

- ◇ これまでの取組の在り方を見直し、質の向上を図る。
- ◇ 学校の実態に合わせた授業改善の取組に対する支援・指導助言。
- ◇ 学校の児童生徒の自己肯定感を高める取組の充実に向けた指導助言。
- ◇ 他課と連携した児童生徒の生活習慣・家庭学習習慣等の改善に向けた取組。



市民の皆様へ 全国学力・学習状況調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、教育活動の一側面であることについてご理解くださいますよう、お願いいたします。